

核兵器のない世界を作るために 講演会 & 「原爆の絵」 パネル展

2025

11.29 土 開場 13:00
13:30-16:00

田中聰司（日本被団協 代表理事）
「ノーベル平和賞を核時代 80 年につなぐ」

原爆投下時は 1 歳 5 か月。軍が派遣した救援トラックに母に背負われて乗り込み、
2 日後に、母の実家があった広瀬北町（爆心から 0.9 キロ）に入って被爆。

幼少期から病弱。食道がんなど 6 つのがんの手術を重ね、治療中。幼少期に原因
不明と言われた口内炎は、半世紀もたって原爆症と分かった。

日本原水爆被害者団体協議会代表理事、ヒロシマ学研究会世話人など現職で務め
る。中国新聞社論説委員。「広島市原爆被爆者援護行政史」「日本被団協 50 年史」
など執筆。日本被団協・ノーベル平和賞の受賞式に参列（2024 年）



小野美晴（基町高校卒業生）

広島市立基町高等学校 普通科創造表現コース卒業生

原田真日瑠（基町高校卒業生）

広島市立基町高等学校 普通科創造表現コース卒業生



日本原水爆被害者団体協議会（通称「日本被団協」）は、2024 年、核兵器のない世界を実現するため
核兵器が二度と使用されてはならないことを証言によって示してきた実績が評価され、ノーベル平和賞を
受賞しました。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻や、台湾危機の高まりを受け、我が国の中でも、戦争被害を受けな
いために核保有が必要だという意見が聞かれるようになりました。

戦後 80 年の今年、核兵器による被害で今もなお苦しんでいる方たちがいることを学び、我が国の安全
保障を考えていくため、日本被団協の田中様よりお話を伺います。

広島市立基町高校では、創造表現コースの学生が被爆者から被爆体験を聴き、「原爆の絵」を描き上げ
るという取り組みを行っています。卒業生の方から、その体験や思いを聴き、私たち自身もどのようにし
て原爆被害を語り継いでいくことができるかを考える機会とします。

岡山弁護士会館 2 階大会議室
（岡山市北区南方 1-8-29）

& YouTube
岡山弁護士会チャンネル



岡山弁護士会

検索

参加無料・予約不要

主催／岡山弁護士会 共催／日本弁護士連合会、中国地方弁護士会連合会

お問合せ／岡山弁護士会 岡山市北区南方 1-8-29 | TEL086-223-4401 | URL <https://www.okaben.or.jp/>